

## 老人と子どもの健全育成活動

宮島 嘉道<sup>1)</sup>，鈴木 純子<sup>1)</sup>，田口 カチ<sup>2)</sup>

要約：秋田県南部老人福祉総合エリア（エリア）は、平成3年9月に、計画されていた施設がすべて完成した。これらの施設での活動を通して、高齢者と子どもの世代間交流（障害児等も含めて）のあり方を考察した。

身出し語：エリア、世代間交流

研究方法：平成元年度に設立した「高齢化社会を迎えるに当たっての母子保健策定に関する研究」協議会を活用して、秋田県南部老人福祉総合エリア（以下エリアという）の各施設で実施されている世代間交流の状況を調査した。エリア、協議会の構成についての詳細は、平成元年度、平成2年度の報告を参照のこと。

結果：エリアの各施設のうち、世代間交流を主目的とした施設は、子どもと老人のふれあいセンター（以下ふれあいセンターという）である。この施設の利用状況は前年に引き続き活発であり、全体として前年より利用者数は増加している。（表参照）また、ふれあいセンター主催の行事はほぼ前年と同様であった。

考察：昭和62年度よりエリア各施設が順次、建設されて平成3年9月に予定された施設がすべて完成した。最後に竣工したのは、全国で初の県営の老人専用マンション（以下、マンションという）である。このマンションは、介護の必要のない健康な高齢者の為の施設である。このマンションの入居者が、前年に開設されたふれあいセンターで、子供とふれあう姿は、現在のところ、あまり見られないが入居者自身の家族が訪れた際には、ふれあいセンターを利用する姿は見られる。エリアの他の居住施設の利用者と大きな相違は、ふれあいセンターの利用に関しては見られていない。

---

1)秋田県横手保健所 2)秋田県平鹿福祉事務所

ふれあいセンター利用者のうち障害児をもつ親に施設を見学させた際に、自身の子どもをふれあいセンターで実施する行事その他の参加に関する意向を問うたところ、参加に前向きであり、福祉サイドで検討の価値があると思われた。現在、幼稚園や保育所で、健常児と障害児と一緒に保育（教育）する動きはあるものの、幼稚園や保育所に入る以前に、この種の統合の機会は殆どないものと考えられる。実現されれば大きな成果をあげる可能性があると考えられる。高齢者との交流のみならず、障害児との交流を幼児期より図ることで、情緒豊かな子どもの育成が可能となるとともに、長じてボランティア精神を形づくるうえでも有為なものとなろう。

エリアは高齢化社会に対応するためのモデ

ル施設として全国に紹介されている。そのエリアを通して、これからの母子保健に関して世代間交流を中心に考察してみた。

文献：老人福祉総合エリア建設基本計画

秋田県 昭和60年2月

厚生省心身障害研究

平成元年度研究報告書p178~p180

厚生省心身障害研究

平成2年度研究報告書p288~p290

表：子どもと老人のふれあいセンター利用状況

単位：人

項目 月	町 内			町 外			合 計
	大人	子供	計	大人	子供	計	
H3 2月	483	763	1,246	524	272	796	(視察348) 2,042
3月	587	905	1,492	750	467	1,217	(視察420) 2,709
4月	405	887	1,292	801	792	1,593	(視察387) 2,885
5月	647	1,041	1,688	1,418	1,386	2,804	(視察637) 4,492
6月	544	1,143	1,687	2,978	1,771	4,749	(視察2,270) 6,436
7月	416	1,315	1,731	3,659	1,655	5,314	(視察2,376) 7,045
8月	561	1,520	2,081	3,108	2,679	5,787	(視察1,425) 7,868
9月	402	1,044	1,446	1,800	1,205	3,005	(視察1,073) 4,451
10月	464	1,326	1,790	3,963	1,488	5,451	(視察3,006) 7,241
11月	480	1,234	1,714	3,027	1,407	4,434	(視察1,902) 6,148
12月	409	1,048	1,457	974	910	1,884	(視察494) 3,341
H4 1月	459	1,117	1,576	882	1,131	2,013	(視察222) 3,589

注)町内はエリア所在地の大森町在住の利用者であり、  
町外はそれ以外のものである。  
また、子供は主に中学生以下の利用者をいう。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:秋田県南部老人福祉総合エリア(エリア)は、平成3年9月に、計画されていた施設がすべて完成した。これらの施設での活動を通して、高齢者と子どもの世代間交流(障害児等も含めて)のあり方を考察した。